

かいぞう

地区広報

子ども自らの貴重な体験を広める日に



— 学校週五日制を契機に地域での子育てを考える —

土曜休日が発足して数回。果して各家庭では如何。過日、ある中学生グループの一日を聞いた。朝はのんびり、十時頃テニスクラブ仲間四人と、予約しておいた三滝コートへ自転車。一時頃まで汗をかき、社会探訪の一端とヘルスセンターへ、腹ごしらえのあと、どんな湯なのか全部試そうと湯めぐりを楽しんだ。そして七時の家庭門限までには帰宅したという。

子供たちの自主性・独創性の尊重と育成

月一回のことだから、寝そべってテレビを見ていても仕方があるまい。小遣いを与えたが無駄遣いをするのではないか。子供だけ残して仕事に……そんなことを考え心配したらきりがない。どこかで割り切らねば。結果として、どう過ごせたかは、今までの子育ての評価という見方はどうだろう。

彼らのこの一日には、自主性、計画性があり、仲間を通じた体験と交遊の広がりもあって、私は中学一年生らしいさわやかな行動の一面としてみることができた。

親の仕組んだ時間割ならば、それがなければ行動しないだろうし、熱中したいものがあれば、自分でその時間を生み出してでも精を出す。

子どもの発想・選択・冒険

……地域での見守り……

何をするにも準備が必要。外へ出れば事故も気になる。手綱を緩めれば、それだけ心配がふえる。こう考えることは、子どもを信頼しないことだと思いませんか。

前向きに取り組もうとする芽を生かし、どう伸ばすかが大切。成長とともに、その舞台も広がり、知恵を出し合うことに、いくつかの発想も、選択の幅も出来ると思う。

地域は、子どもにとって、こんな場としたい。自然も、人も、構築物も。みんな故郷として、子育ての要素としての意味を持つ。

月一回であっても、子供の成長にとっては、かけがえない貴重な経験の機会であるかもしれない。親も、この一日を、わが子を試す日としたらどうだろう。目前の二十一世紀に羽ばたく人間の育成について、静かに発進した土曜休日を、わたくしたちは、こう見守っていききたい。

海蔵地区の人口 総数 11,101 男 5,500 女 5,601 世帯数 3,702 (2月末現在)

編集・発行 海蔵地区社会福祉協議会・海蔵地区市民センター

わたしにとつこの学校週五日制

こんなふうに受けとめたい

与えられたテーマは

自由

どう使うか……

どう生かすか……

さしずめ主役は子供、

大人は、黒子というところ

子供達の発想を、

私達は見守りたい……

学校5日制について

中二男子

僕は、学校五日制になって、第二土曜日を、有効に使っているかと聞かれると自信はありません。父も母も仕事がありますから、家には妹と祖母と僕の三人です。妹とトランプやゲームをしたり、本を読んだりして午前中をすごしています。四月から中三ですのすのでしっかり勉強日にしたいです。



地域の子供と関わって

スポーツコーチ

先日ある母親グループとの話。「うちの子供は毎日塾で、日によっては、掛け持ちで塾塾・ご飯もカミカミ」別の母親も「うちも一緒、親も大変」と子供の塾談義。今の子供は昔のことは知らず比較することはできないから、大変なのかどうかはわかっていないのではと話が落ちついた。でも、子供にはゆとりはなさそうと……。

最近「心のゆとり」「心の豊かさ」が叫ばれるようになったが、これは子供にも当てはまる。今こそ子供はこのような人になれとつけた名前を思い出し、明るく楽しい親子の場を、心の教育をすべき時である。そのためには親が積極的に子供に接し、できれば戸外へ、スポーツに。
第二土曜日がこの意味からも親子の共生の日となることを願う。

子供たち自らの時間

海蔵小学校 三年担任

「土曜日にね、万古焼工場を見学してきたよ。おばさんが親切に教えてくれて、おみやげももらった。その後みんなで弁当を食べ、広場で遊んだん。めっちゃよかったよ。」
月曜の朝、教室に入った私に、十二月第二土曜日の過ごし方を話してくれたクラスの子どもたち。その表情は、底ぬけに明るく、満ち足りた様であった。

というのは、社会科学の万古焼の学習を進める中で見学の必要性が出てきたのだが、子どもたちは、自分たちでグループ作り、見学場所、日時を決めたいと言い出した。子どもの主体的な考えを尊重し計画を立てさせてみたところ、いつ行くのかグループ内の調整がうまくいかなかった。放課後は、塾や習い事があってメンバーがそろわないのである。そこで考えついたのが、第二土曜の休日であった。今まではこの休日を、家族と過ごすか、出かける子も多かったが、今回は仲間と計画を立てて意欲的に学び、共に遊ぶ楽しさも味わった日となったらしい。
これこそ、学校五日制の目指す一つの道ではないだろうか。

第2土曜日を

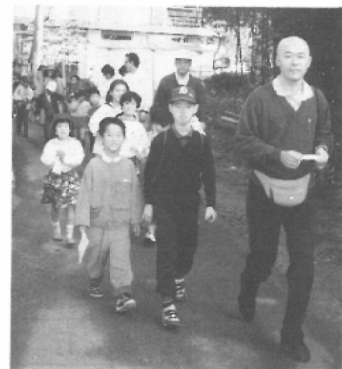
海蔵地区では

学校五日制が九月十二日から始まりました。これによって子ども達は、毎月第二土曜日は休みとなりましたが家庭の事情でやむを得ず子どもを学校で過ごさせたいという方のために小学校の施設を一部開放(グラウンド・体育館・低学年用図書室)して頂き、午前八時三十分より十一時三十分まで指導員が世話をしております。参加する児童は、通学路を通り学校まで徒歩とし、水筒を持参、間食は持っていない等、ふだんの登校と同じ様子で学校まできます。ほとんど体育館で時間を過ごし、ボール投げをしたり、マット遊び、かくれんぼ、平均台と次から次へと自分達の好きな遊びにかわっていき、三時間をめいっぱい楽しんでかえっていきます。



三重地区では

市の研究推進校である三重小学校では、平成四年より地区社協が中心になり、五日制研究会を発足。受け皿として、どんな事が出来るか検討してきました。又、三重北小学校では、従来行なっていたPTAの部活を基に、保護者が受け皿となっています。当面は地区内の史跡巡りとスポーツ教室を交互に開催します。育成会主催で郷土史編纂会のメンバー(地区の人)が先生となり、昆沙門天行きや、体育部のかたちたちで、タスポニー、ドッジボールなど、毎回工夫をこらした企画に参加者も多く、盛況です。あわせて、消防署の放水体験、講演会など地域の各団体独自の取り組みも行われています。子供達への、強制でない自由な時間づくりを目指して地域や保護者が一体となった五日制への実践がありました。



子供達の問題から 家庭・地域のとりくみへ

「学校5日制を考える」

講演会

齊藤憲孝教育委員会指導課長をお迎えしての、十月八日の講演会のあと、参加者の皆さんにアンケートに答えていただきました。

設問の一つが、「五日制になったら子供にどうさせたいですか」。

答の多い順に表すと、

- ① のんびり、ゆっくりリフレッシュユさせる。
 - ② 趣味・興味・関心のあることをさせる。
 - ③ 自由にさせる。
- 答の少ない順に表すと、
- ① 習い事に通わせる。
 - ② 予習・復習をさせる。
 - ③ 学習塾等で学力の充実。
- となりました。

お話の主旨が、「ゆとりと充実」ある生活をさせ、心豊かでたくましい子供たちを育成したい、というところにあつたので、当然の回答ともいえますが、親たちが、あらためて、今の子供をとりまく環境と、親自身の日常を見つめなおす講演とアンケート調査ではなかったかと思えます。自由に出来る一日を手に入れた子供への願いは、どうも親自身が同じ様になった場合の願いと重なり合っているよう

な気がします。

今ここで短兵急に、この一日をどう使うべきか、などと親が決めないほうが良い気がします。子供たちが自分で、もつと自然に、欲しいもの、やりたい事、なりたい状態を捜すことにこそこの時間をつかえばいいのではないのでしょうか。そう、もつと自分を大切にしたい、思いっきり楽しい事をするために。

そして、残念ながら今すぐ休みを増やせない親たちも、なんとか時間をとって、自分にも同様の間いかけを始めた方がいいのです。

「地域に育つ子供達」

子育てO・B(女性)

「ただいま、お母さんは」学校帰りの近所の子供の声、私は屋敷の草取りをしながら、ハツとしました。うれしいやら、なつかしいやら、自分の幼いころの思い出とながったのです。学校から帰って母の姿を見ると、安心して、遊びに行けたものです。昔も今も母子の絆の強さは変わらず、家庭環境の大切さを考えさせられました。現在子供に、三つの「間」がないと、聞かれます。親が子供に習い事を多くさせて「時間」が無い。広い土地には、ビル等建てて、「空

間」が無い。親しく話し合える遊ぶ「仲間」が無い。という生活を大人がさせているのではないのでしょうか。社会情勢の変化の激しい今の時代に、ふさわしい子供にするため、いろいろな体験をさせ子供なればこそ持っている創造力と、豊かな感性、自然を愛する心を、養う必要があると思います。

天の半分を支えている女性こそ優しく、又きびしい目を持って、地域の子供を、温かく育てて行きたいと願っています。

「私の提案」

子育てO・B(男性)

学校の週休二日制については、教育関係者および父母の間で賛否の意見が報道されていますが既に実施に踏み切った今日では、これを如何に生かすかを考える時だと思えます。

運動もよし、勉強も良いがこれと一緒に、また遊び心で徒歩による史跡巡りや山野の跋涉はどうでしょうか。幸い三重県及び近県には有名な神社仏閣または古戦場や城跡等の史跡が多くあり非常に恵まれて居りますので現地で勉強は何時までも心に残るものと思えます。

又、御在所岳や鈴鹿の山にも動植物の観察、自然環境の保護の大切さを学ぶのによい場所と思えますがただこれを誰が指導するか、家庭か、子供会か、学校かの問題があります。

こんな提案・こんな意見

海蔵地区で活躍するボランティアの皆さんに、五日制についてお尋ねしたら……。

- ☆家？ 学校？ そと？ 広場？ それとも文庫？
何をしても良い一日っていいよね でも ただ一つ 何をするにも 「心」をこめてね。
- ☆5ヶ月目になり、落ちついてはいるが、むしろ見えなところでの『しわよせ』が心配である。
- ☆カギッ子になる少数者の声なき声に耳を傾け地域・学校・親の協力で「土曜学校」などの充実を。
—— 完全5日制に向けて ——
- ☆全企業、全業種での完全週休2日制の促進と育児休業保障の充実強化を！
- ☆教諭の労働条件（週休2日制）の問題であり、いたずらに子供の「ゆとり教育」を前面にしたのがそもそものボタンのかけちがい。

- ☆全部に矛盾を感じる（外へ働きに行かなくてはならない日本の状況・小学校の間は、鍵っ子にしない。幼児作法が出来てない。大学に行くにはお金がかかる。）
- ☆子供の自立を願う親として、今私自身がどうあるべきか、月一回は、自己点検の日と考えています。
- ☆障害児と健全児が触れ合う機会として、絵画教室を開き、一つの作品を通して分かりあえたら良いと思う。
- ☆企業や大学なども個性を重視して採用選択しつつあるなか、自由時間の増加をとらえて、個性をのばす教育をめざしてほしいと願う。

第一回海蔵地区

ウォークラリー大会

11月15日

主催 健康づくり推進協

ウォークラリーとは
図表により、予め設定した課題と歩行距離によって、解答率と所要タイムの両得点を出して、順位を決める競技の一つである。
今回は、10のポイント(課題)を通過し解答しながら、全行程を時速3km程度で歩いてゴールするという想定であった。正解の所要タイムが隠されていたので得点差が生じ競技のおもしろさがあった。



何本あるかな...



海蔵神社

スタート 市民センター ゴール



ドン汁 おいしいな!



文化財愛護のシンボルマーク



文化財愛護のシンボルマーク



あいなし

なんと 150名参加
楽しくおしゃべりながら 7.5km
クイズに挑戦 2時間20分
80才以上3名 1~5才12名も
元気にゴールイン!!

伊物おめでとん
私は、ウォークラリー会に参加して多くの所を知りました。
野田の方で細い道を行くと、お寺があるんだなあと思いましたが。途中、問題があるとみんなで行って行って考えました。たくさん歩いて疲れたけど、優勝して嬉しかったです。これからの地区の行事に参加したいと思います。

齊藤綾子

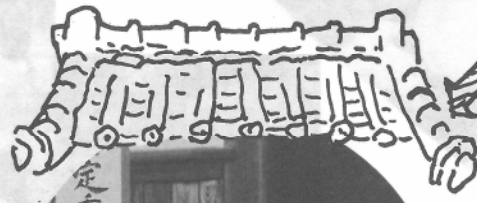


飽良河神社



ふーん?? なんだなんだ??
歩くことって... クだね!

田んぼの中
パズルクイズ



定重要文化



悟真寺

感謝して楽しんで暮せ
今日一日を
不平言うても
同じ一日



遊具はいくつ? 南公会所



正福寺

ウー... かわいいな!



▲園児の力作
みんな仲良し
ゆ〜らゆ〜ら



▲グラデーション
さすが中学生



▲出番待ちでドキドキするよ



体を動かし▶
いつまでも元気で

スロー、スロー▶
クイック……
あなたも踊って
みませんか？



▲たくさん来てね
いつてきまーす

文化祭

わらわら

○とき
十月三十一日(土)
十一月一日(日)

海蔵地区市民センター
海蔵小学校ホール
海蔵幼稚園
体育館



▲ペタンペタンおもちつき
▼のび〜るのび〜るおいしいな



▲映画「新ちゃんが泣いた」

君も泣いたかな

私たちの街ではこんなことやってます



わ か ば 作 業 所

わかば共同作業所は、昭和五十九年に、精神障害回復途上者の社会施設として開設され、作業の場、いこいの場、生活の場と多様な機能をもつ施設であります。

平成三年三月に新しく竣工し、建物は二階建延べ面積六十坪、定員は二十名となり、職員は所長、指導員、事務職の三名で、地域のボランティアの方々のご協力をいただいております。作業所は、国、県、市の補助金で運営され、長年の家族の悲願が実ったものであります。今日、国際障害者十年を期に、ノーマライゼーションの思想が普及し、障害のある人もない人も共に地域で普通に暮らせる時代を迎えました。

作業所の通所生も、病気と障害と偏見にめげず毎日元気に働いています。地域の方々の温かいまなざしや言葉にどんなに励まされることでしょう。不況の中で、就労への道や作業所の仕事も厳しい状況にありますが、地域に守られ、授けられ、開かれた作業所をめざして努力いたしております。

障害者の人権擁護と福祉の充実により、障害者の社会参加と社会復帰の促進を願う日々であります。

「海蔵の寺社」シリーズ その② 「海蔵神社」



シリーズ第二弾として海蔵地区の皆様によく知られ、親しまれている「海蔵神社」をご紹介します。 (祭神・素盞鳴命、神職・喜多島弘重宮司) 由緒は、阿倉川の地が、東西阿倉川に分村する以前から、東阿倉川の南条、中条、北条各地区(現在の東阿倉川、阿倉川町、万古町の三町の旧称)に住んだ住民が産土神として又は、他の理由で信仰した諸社を合祀せられた神社であります。奥の拝殿の中には、約二百九十五年前、元禄十四年頃の石灯笼一対が、歴史をもの語ってくれるかのように、ひっそりと、置かれております。

神社は奉賛会の皆様の努力とお世話により守られております。年間を通じて元旦祭、月並祭(一日と十五日)、節分、春の祭り、稲荷大祭、山の神まつり、夏祭り、秋の大祭、七五三詣り、新嘗祭(勤労感謝祭)、越年祭などの祭事で神社はにぎわいをみせます。

また、毎年十月に境内の平和塔の前で地区戦没戦災者の慰霊祭が行われております。



わたしたちの街のエキスパート 阿倉川駅の「駅員さん」

私たち、乗客の安全を見守っている駅員さん。今回は、近鉄阿倉川駅の駅員さんにスポットをあててみました。

二十代が八人、四十代が六人、平均年齢三十五才という比較的若い駅員さん十四人の方が毎日交替でがんばっています。

「趣味は何ですか?」の間に、釣りという意見が多く、次にスポーツ・自動車・ドライブ・読書という順でした。

次に、駅員さんになった理由を聞いてみると、「親戚、近所に近鉄職員がいたから」、「鉄道への憧れ・制服が着たかったから」、「いろいろな人と出会えるとと思ったから」、「小学生の頃から入りたかったから」でした。小さい頃からの夢が実現しているというの、とても羨ましいことです。

そして、「乗客の方へ一言」というのを願って見ました。すると殆どの方は、「マナーを守って下さい」という返事でした。ここに一人の方の紹介しますと、「私たちは、お客様をお迎えする気持ちで業務しております。マナーを守ってご利用していただければと思います。マナーを守るのとは簡単にと、口で言うのは誰でもできます。しかし、いざ実行となるとどうでしょう。難しいかもしれませんが、きれいな駅を保つためには、乗客一人一人の協力が必要だと思います。」

さらに、一生懸命業務に励んでいる駅員さんへ一言挨拶してみるのはいかがでしょうか。

気持ちいいですよ。

寝た子を起こしたアンケート

海蔵地区同和教育推進協議会



特選・四日市市立海蔵小学校6年 佐野 武

くとも海蔵地区在住の方は、全員この問題の存在を知っていただけたものと思います。このことよって生まれる疑問や問題の解決はこれからの課題であると考えております。

設問の中には筆記で回答いたたく項もありましたが、忌憚のない素直、且つ貴重なご意見、ご経験等を本当に沢山お寄せいただきました。これらのご意見に対しては、今後、皆様と共に考えご理解いただけるよう努力して行きたいと思っております。

昨秋、皆様のご協力を得て実施しました人権・同和アンケートの目的は、今現在の皆様の人権問題や同和問題に関する意識を集約した上、今後の啓発活動の参考にすためのものでしたが、もうひとつのねらいは、アンケートによって同和問題の存在を知っていただくという意図もあったわけですが、勿論、同和問題（特に部落差別の問題）については、かなり深くご存知の方、ほんやりと知っていると言う方もおられますが、中には、予想通り、このアンケートで初めて同和問題の存在を知ったと言う方もありました。これで少な

いずれにしても、確かにこの問題は、知らなければ知らないで済んでしまう問題です。それだけに余計、この問題とのかかわりが億劫に感じられるのではないのでしょうか。自分には関係ない事だからかわりたくないと言う気持ちが多分多くの人がもっていると思います。勿論私にも、その様な気持ちはありますが、それよりも、この平和で豊かな民主主義の世に、このような不合理は断固許すことが出来ないと言う気持ちのほうが強いため及ばずながら微力を尽くしているわけですが、今後ともよろしくお願いいたします。

特選標語

地域からなくそう差別 子等のため

宮田 豊

魅力的な人は、健康から

『海蔵健康スリム教室』に参加して

私が、スリム教室に参加しようと思ったのは、息子が一昨年の十二月から、ご飯の量を少なくして、半年で二十kg減量を達成したことに魅せられたからです。身長は私と二十cmも違うのに体重は私の方が多く、これは何とかしなくてはと思っていたら、センター日よりで、『海蔵健康スリム教室』募集を知り、さっそく友達と申込みました。

これまでも、いろんなダイエットを試みたのですが、その時だけで元の体重以上になってしまいました。今回も出来なくて元々！ 体操と料理の実習もあわせてあるので料理だけでも覚えれば良いと思っていました。

まず、標準体重にするのに十八kg減、目標体重十kg減、一日で一七〇〇Kcal消費すること。栄養指導は、一群から六群をバランスよく食べることに。運動量は一日最低六千歩歩くこと。でも日によって一万

歩歩ける日と四千歩しか歩けない日があるのでこれはダメだと思い、スポーツクラブでエアロバイクとウォーカー、プールに月に八回から十回行きました。食事面では、我が家は揚げ物、炒め物などの油料理が多いので、茹でたり、揚げ物は自分だけ少量にし、夜八時以降はなるべく食べないようにしました。スリム教室五月開講の一回目から六回目の四ヶ月で三・七kg減量。六回目から終了式の七回目迄は自己管理期間を含めて三ヶ月で四・八kgの減量。合計で九・一kg、減りました。

目標・標準体重には及びませんでした。コレステロールも減り疲れ知らずになり、少し体力もついたので、これからも頑張っていきたいと思えます。

奥村町子

S.P.O.T

よりよき海蔵の街づくりに向け環境改善と意識の高揚を図るために！！

①下水道事業の着手

待ちにまった公共下水も三ッ谷地区を初めに計画に沿って実施されることとなった。

②市道赤堀山城線の整備

海蔵地区の幹線道路が西阿倉川地区で着手され、これが進めば交通渋滞の解消につながるのを期待して。

③区画整理事業の進展

関係者の皆様の協力により、事業は今年度から家屋の移転が本格化し、引き続き事業促進のためご協力を。

④皆で植えたアジサイの花

海蔵川堤防へ皆さんの手により、アジサイの苗木が植えられ、桜のあとに花の咲くのを楽しみに。

⑤ゴミ置場優良管理

阿倉川町自治会がごみ出し三原則の徹底等で市長表彰を授与、これに習ってまず足元から『自慢のできるまちに』を合言葉に美化活動を期待。

⑥海蔵川の堤防清掃・いぬなし広場の清掃

青少年の健全育成を旨とし、子供達に、物を大切にすることを育て、郷土愛の精神を養うために。

編集後記

桜が海蔵川に彩りを添える頃となりました。

今回は、学校五日制の実施を機に、子供達にとって「よりよい故郷：海蔵」づくりをテーマに、皆さまのご意見を中心として編集してみました。

委員全員が十ヶ月間、力を合わせての、言わば素人の手作りです。皆さまのご意見とご指導をお寄せ下さい。

(地区広報編集委員)

